

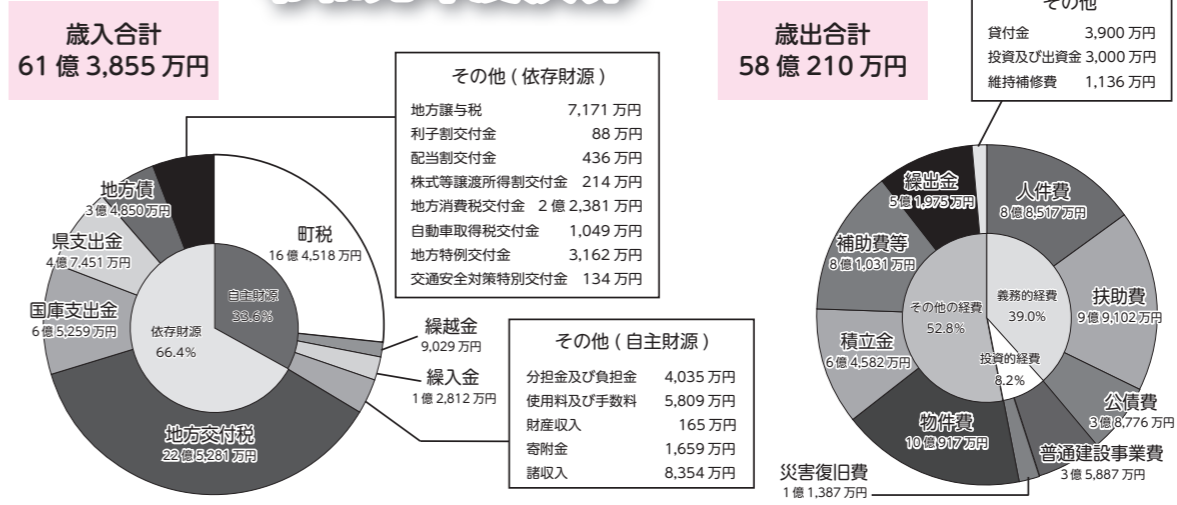
財政公表

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、令和2年度上半期の予算状況及び9月定例会議で認定された令和元年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせいたします。

財政用語の解説

- 【一般会計】**
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計。
- 【一般会計】**
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計。
- 【繰入金】**
各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金。
- 【地方交付税】**
自治体の財政力に応じて国から交付されるお金。
- 【町債】**
国や銀行などからの借入金。
- 【公債費】**
事業を行うために借りたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金。
- 【普通建設事業費】**
道路や公共施設などの建設・改修に使われるお金。
- 【繰出金】**
各種基金や特別会計などへ繰り出されるお金。
- 【扶助費】**
社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して給付されるお金。

令和元年度決算



災害復旧により 決算額が増加

令和元年度の一般会計決算は、大規模な工事の実施が少なかったことなどから、前年度を下回る予算額で推移していましたが、令和元年度日本台風の災害により災害復旧費が大きく、前年度を大きく上回る予算額となっております。災害復旧事業の一部が今年度に繰り越されたことから結果的には前年度と同程度の決算額となりました。

歳入は、災害復旧による国庫支出金、特別交付税の増加により、61億3,855万円と昨年度決算額と比べて8,161万円の増加となりました。

歳出は、災害復旧事業の一部が今年度に繰り越され、58億210万円と前年度決算と比べて1億6,454万円の減少となりました。

歳入の主な内容は、町税16億4,518万円、地方交付税22億5,281万円などになります。

歳出の主な内容は、道路等

側溝堆積物撤去・処理支援事業1億5,940万円、災害廃棄物処理事業4,325万円などとなっております。

鏡石町の財政健全化判断比率の公表

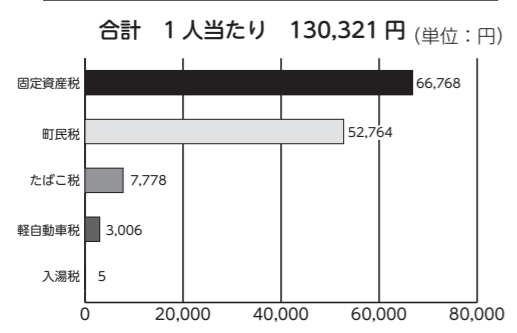
指標	健全化判断比率	早期健全化比率
①実質赤字比率	-	15.0%
②連結実質赤字比率	-	20.0%
③実質公債費比率	8.5%	25.0%
④将来負担比率	20.1%	350.0%

※令和元年度決算に基づく数値

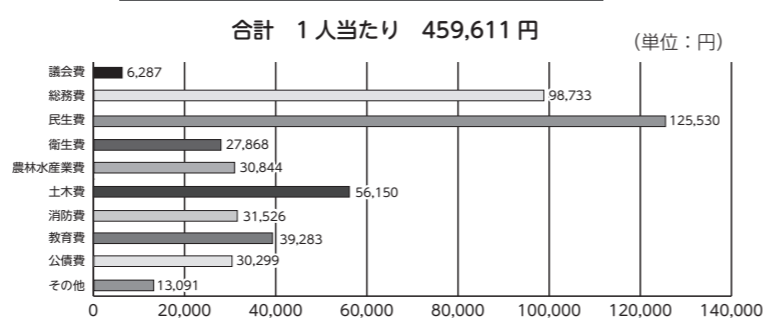
【健全化判断比率】

- ①実質赤字比率**
一般会計などの実質収支が黒字のため該当なし。
- ②連結実質赤字比率**
一般会計などの実質赤字、公営企業会計の資金不足は発生しておらず、該当なし。
- ③実質公債費比率**
標準財政規模に対する一般会計などが負担する元利償還金などの割合は8.5%で、前年度に比べ0.1ポイント減少。
- ④将来負担比率**
標準財政規模に対する一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の割合は20.1%で、前年度に比べ23.6ポイント減少。

町民1人当たりの納めたお金



町民1人当たりに使われたお金



各会計町債残高の状況 (町の借金残高)

会計区分	町債残高
一般会計	51億8,015万円
駅東土地区画整理事業特別会計	2億7,313万円
公共下水道事業特別会計	31億5,253万円
農業集落排水事業特別会計	3億6,012万円
上水道事業会計	21億5,536万円
合計	111億2,129万円

令和元年度末現在

令和元年度各会計決算状況

会計区分	歳入	歳出
一般会計	61億3,855万円	58億210万円
国民健康保険特別会計	14億5,251万円	13億1,401万円
後期高齢者医療特別会計	1億1,335万円	1億1,262万円
介護保険特別会計	10億3,811万円	10億3,131万円
土地取得事業特別会計	3,006万円	3,000万円
工業団地事業特別会計	4,510万円	4,474万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億6,174万円	1億3,675万円
育英資金貸付費特別会計	490万円	490万円
公共下水道事業特別会計	4億8,168万円	4億7,879万円
農業集落排水事業特別会計	8,167万円	8,071万円
小計	95億4,767万円	90億3,593万円
上水道事業会計	収益的	3億856万円
	資本的	3億6,170万円
	計	6億7,026万円
合計	102億1,793万円	96億8,867万円

※上水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

基金積立金現在高の状況 (町の貯金残高)

基金区分	現在高
財政調整基金	15億1,129万円
減債基金	83万円
役場庁舎新築事業基金	8億2,514万円
東日本大震災復興交付金基金	1,766万円
その他	10億7,923万円
合計	34億3,415万円

令和2年5月31日現在

令和2年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計	
一般会計	78億8,971万円	
国民健康保険特別会計	14億988万円	
後期高齢者医療特別会計	1億2,148万円	
介護保険特別会計	10億8,252万円	
土地取得事業特別会計	1,838万円	
工業団地事業特別会計	4,600万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億4,791万円	
育英資金貸付費特別会計	487万円	
公共下水道事業特別会計	5億2,169万円	
農業集落排水事業特別会計	7,770万円	
小計	113億2,014万円	
上水道事業会計	収益的	2億9,130万円
	資本的	14億8,680万円
	計	17億7,810万円
合計	130億9,824万円	

令和2年度 上半期予算状況

令和2年度一般会計予算については、新型コロナウイルス感染症対策事業、1人10万円を給付する特別定額給付金事業等により、78億8,971万円と昨年度の同時期を17億4,579万円上回る大規模な予算額となっております。

その他の主な内容は、GIGAスクール構想の実現に向けて児童生徒1人に1台ずつタブレット端末を整備する公



駅東口の臨時駐車場整備予定地

立学校情報機器購入事業7,926万円、駅東口整備事業5,116万円を計上しています。